

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日	4月 ~4日	4月 ~11日	4月 ~18日	4月 ~25日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	14	10	14	27	29	29	38	41	42	21	19 (21)	29
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	11	6	6	2	8	10	19	15	15	4	16 (17)	24
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	2	0	0	3	1	0	1	1	1	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	6	4	4	2	6	9	11	7	8	3	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	4	2	2	2	2	6	4	3	5	5	6	9
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	0	0	1	4	1	3	1	1	4	3	3	1

\* その他の1件は、アエロモナスでした。  
\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第16週(4月19日~4月25日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		1		4		
三類	0	発生なし	0							
四類	3	E型肝炎	1					1		
		日本紅斑熱	2						2	
五類	6	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	1		1					
		梅毒	4				1	1		2
新型コロナウイルス感染症	267	新型コロナウイルス感染症	267	48	9	15	0	141	6	48

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第16週に合計141件の報告があり、感染の急拡大が懸念される状況が続いています。全国では、4都府県に3回目の緊急事態宣言が発出されました。全国的に変異株の割合が増加しており、広島市でも変異株検査を実施した感染者のうち、変異株であった割合が増えています。また、変異株検査が陽性であった143人のうち、48%が20歳代で、若者であっても高熱等により入院する例が増加しています。今週からゴールデンウィークが始まり、人の移動が活発になることで感染リスクが高まりますので、誰でも感染するという意識を持ち、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。



ゴールデンウィーク中の感染対策

- 「3密」を避けて、可能な限り近場で過ごしましょう。
- 体調が悪い人や、2週間以内に感染が拡大している地域に滞在した人は、成人祭等のイベント参加は控えましょう。
- 帰省は控え、オンラインや電話にしましょう。
- 会食をする場合は、感染対策を徹底したお店を、少人数、短時間で利用しましょう。

【参考】広島市ホームページ  
 新型コロナウイルス感染症の発生等に関する記者発表資料(令和3年4月26日(月))  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/186948.html>

2 感染性胃腸炎

定点当たり12.50人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、1件の集団発生が報告されています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減	
													急増減	増減
インフル	インフルエンザ	-	-	1.01			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.16		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.44			小児科	RSウイルス感染症	5	0.21	0.22		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.79	2.46			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	300	12.50	7.33			眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.78		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	4	0.17	0.24			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	-	-	0.71			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-			
	伝染性紅斑	1	0.04	0.33			基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11			
	突発性発しん	11	0.46	0.43			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.15			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	1.20			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	38	30歳代・推定感染地域: 国外・1人、70歳代・2人、80歳代・1人
4	E型肝炎	1	3	40歳代
5	梅毒	1	15	30歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	3	70歳代